



2025年4月30日

各 位

会社名 ENECHANGE株式会社
代表者名 代表取締役CEO 丸岡 智也
(コード番号：4169 東証グロース)
問合せ先 執行役員CFO 篠原 雄一郎
(TEL03-6635-1021)

よくある質問と回答 (2025年4月)

日頃より、当社へのご関心をいただきありがとうございます。今月までに投資家様より頂戴した主なご質問とその回答について、下記のとおり開示いたします。

なお、本開示は投資家様への情報発信の強化とフェアディスクロージャーを目的に、毎月月末を目途に開示するものです。回答内容については、時点のずれによって多少の齟齬が生じる可能性があります。直近の回答内容を最新の当社方針として回答を記載しています。

Q1. 貴社のビジネスは今回のアメリカとの相互関税の影響を受けますか？

現時点では当社ビジネスに関する市場環境の変更などの大きな影響はないと考えております。主に日本国内の家庭・法人向けに展開しておりますので、相互関税が直接的に与える悪影響はほとんどないと現時点では考えております。一部事業で海外顧客に対する売上もございますが、当該取引に関しても直接的な影響は現時点ではございません。

Q2. 為替の急激な変動や金利低下などが悪影響を及ぼす可能性はありますか？

当社が取り組んでいる事業は、輸出入に直接的に関連するビジネスではないため、為替変動や金利低下の直接的な影響は軽微であると考えております。

Q3. 万が一、景気が後退した場合、貴社ビジネスにどんな影響を与えますか。

当社は、主に電力に関連したビジネスを行っております。電力は生活インフラのひとつであり、景気による影響は軽微であると考えております。また、景気後退が進んだ場合でも、消費者は家計の節約を意識するようになるため、電気・ガスの切替による節約を検討する方が増えることも予想されます。そのため、当社の切替サービスの利用者が増加する可能性もあると考えております。

Q4. 2025年7月使用分から電気・ガスに関する物価高対策としての補助が再開されるとのことですが、貴社ビジネスにどのような影響がありますか。

電気代の負担が大きい時期には、より安いプランを提供する電力会社を探す消費者が増えるため、当社HPにて取り上げている「電気代補助」並びに「電気代値上げ」に関する記事を通じて、電気代シミュレーションページへの流入数が増える傾向も見受けられます。電気代高騰による電力切替ニーズが増えることで、当社の電気・ガス切替プラットフォームを通じた切替数の増加が期待でき、実際に切替数が増えると売上増加に繋がります。夏場は空調設備の利用により電気使用量が増え、電気代が高くなる傾向にあるため、当社ビジネスでも夏場及び冬場は、切替数増加等の季節性がございます。

以 上